

No	115	<b>事務事業評価票</b>		所管部長等名	病院長 永利 憲一		
				所管課・係名	市立病院 事務局 医事係		
				課長名	松本 浩		
評価対象年度	平成23年度	<b>(Plan) 事務事業の計画</b>					
事務事業名	老朽化している医療機器設備の充実			「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名			
会計区分	病院事業						
予算の事業名							
事業コード(大-中-小)	- - - - -						
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第1章 誰もがいきいきと暮らすまち					
	施策の大綱(節)【政策】	③ 健やかに暮らせるまちづくり					
	施策の展開(項)【施策】	① 保健・福祉・医療の連携強化					
	具体的な施策と内容	(1) 保健・医療の充実					
根拠法令、要綱等							
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営		○ 一部委託		○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)
	○ その他( )						○ 義務である ● 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定		

<b>(Do) 事務事業の実施</b>									
事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
	内容 (手段、手法等)	<p>老朽化している医療機器</p> <p>老朽化した医療機器を買い替えることで最新の医療を提供する。また、医療機器の充実により患者数を増加させ医療収益を拡大を図る。</p> <p>医師や看護師等の医療スタッフと事務局職員で会議を開き、買い替え対象の医療機器の必要性や価格、機能について打ち合わせる。妥当かどうか認められた場合翌年度購入することとなる。</p> <p>① 医療スタッフによる買い替えの検討 ② 事務スタッフも含めたところで費用対効果について検証する ③ 購入が決定したら価格、機能を考慮しながら機種を選定する。</p>							
事業開始時点からこれまでの状況変化等	医療機器については医療の進展や外来、入院患者に対応するために充実を図ってきた。多様化する患者ニーズに応えることはもちろんのことであるが機器の充実は医療収益にも直結してくるため毎年計画的に買い替えを実施してきた。								
コスト・成果指標の推移									
コスト	総事業費	単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
	事業費(直接経費)	千円	14,830	8,857	12,093	10,700	10,700	10,700	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円	10,000	4,500	9,900	10,000	10,000	10,000
		その他(一般会計出資金)	千円	2,065	1,829	747			
	一般財源	千円	2,065	1,828	746				
	概算人件費(正規職員)	千円	700	700	700	700	700	700	
正規職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 医療機器設備の充実	病院として必要な医療機器設備の充実のうち、どの程度買い替え出来ているかを指標として設定した。	%	50	50	50	50	50	50
	②								
<p>(記述欄)※数値化できない場合</p> <p>医療機器設備を100%満足のいかに揃えようとすると老朽化した機器の買い替えのみでなく最新の機器への買い替えなど多額の費用がかかることとなる。本院の経営状況を考慮すると必要の50%程度の買い替えに抑えていくことが費用的な面からも大きな負担になることなく医療機器の充実を図っていくことになると思われる。</p>									

**(Check) 事務事業の自己評価**

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A 医療機器の充実は入院、外来患者の利益はもちろんのこと、健康診 断や人間ドックで受診された方にも病気の早期発見等利益になる。 また、最新機器を導入することで他医療機関からの紹介も増加し医 業収入の増加も見込まれるため、事業の妥当性は充分あると思わ れる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 医療機器の充実だけで効果を図ることは困難であるが、業業収益は H22年度比+54,144千円増加、病床利用率も一般病床に限ると 77.2%→79.5%上昇している。しかしながら、医療スタッフのすべての 要望に応えることは、決算に与える影響が大きくなりすぎるため困難 であり100%満足のいく設備の充実が出来ているわけではない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) ①医療機器を備えた他病院へ検査等依頼すると機器購入費は軽減 されるが検査によって得られる収入も無くなる。 ②本市において病院事業を行っているところは他にないので統合は 困難である。 ③医療機器の購入に関しては、特別に人を雇用している事は無く従 来の職員で対応しているの、人件費はかかっている。 ④医療機器の新旧に関わらず医療費については法令で定められて おり本院で価格を決定することはできない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

**(Action) 事務事業の方向性と改革改善**

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 医療機器設備の充実が外来、入院患者の利益だけでなく病院の収益にもかかわることであり縮小するとその不利益は計り知れないものがある。今後も現状程度の医療機器整備は継続していく必要がある。																					
改革改善内容	<b>今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</b> 医療機器設備の充実が患者、病院双方の利益になるものの、費用対効果や維持管理費についてはさらに検討し効果を最大限に引き出す。	<b>改革改善による期待成果</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------